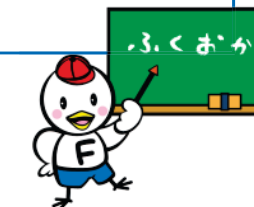


1 ねらい

小学校3・4年生児童を中心に放課後補充学習を実施することで、「分かる」喜びを通じて学習意欲を高め、自ら進んで学習する習慣を形成し、学力の向上を目指す。

2 実施状況(平成29年度)

- 実施対象校：小学校70校
- 対象学年：小学校3・4年生が中心
- 場所：学校の空き教室、公民館、人権のまちづくり館等
- 実施日時：各校で週2回程度（曜日は学校毎）、15時～17時（2時間程度）
- 内容：小学校算数を中心に、宿題の指導や文章の視写、音読等
- 指導者：学習支援リーダー、学習支援員



学校の教室や図書館などを利用して



通常の授業とは違う雰囲気の中で、友達と一緒に学習したり、一人ひとりに応じたきめ細かな指導を受けたりすることで学習意欲が高まり、積極的に学習に取り組むことができるようになっていきます。

教育委員会が全学校に準備した算数の教材を活用して



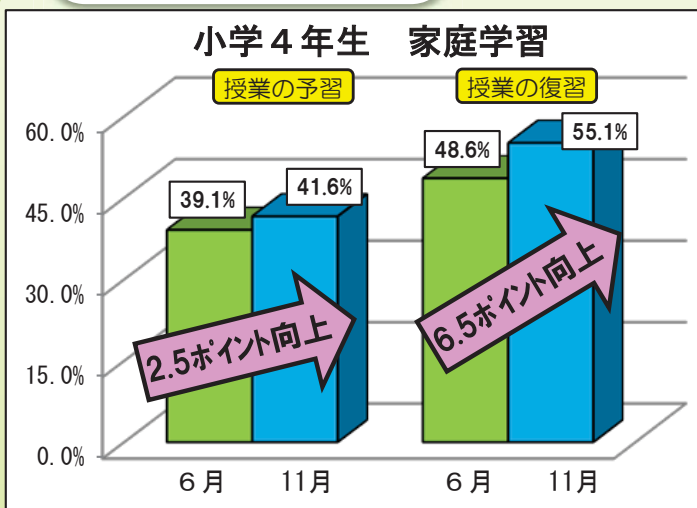
これまでに習った学習内容を繰り返し学習することで、算数のプリントや宿題ができるようになり、基礎・基本が定着してきました。算数の教材を活用して、一人ひとりに応じた練習問題を作成し、学習させるなどの工夫を行っています。

地域の方や先生が指導しています



学習支援リーダーと学習支援員が、児童一人ひとりの課題に応じたきめ細かな指導を行っています。プリントの丸つけをしてもらった児童は、とても嬉しそうな表情を浮かべ、自分からすすんで次のプリントに取り組む様子が見られます。

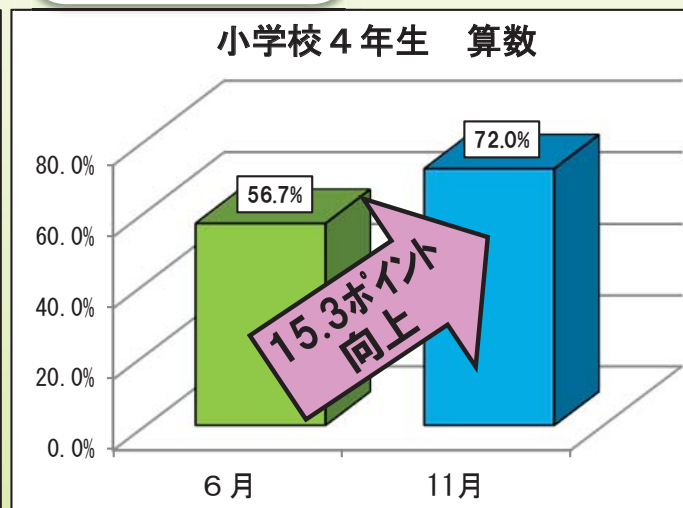
学習習慣の形成



【家庭学習への取組みの推移】

福岡市生活習慣・学習定着度調査（6月実施）を11月に再度実施して分析

学力の向上



【学力に課題が見られる児童の平均正答率の推移】

◆平成29年度参加児童(小4)対象調査より

3 今後の展開

平成30年度

拡充

全小学校(144校)で実施

- ①児童一人ひとりの学力課題に応じた、きめ細かな指導のさらなる充実
- ②放課後補充学習における指導方法等のさらなる充実
- ③学習支援リーダー、学習支援員の人材確保



福岡市全体の学力の底上げ